



市議会議員
砂田喜昭
67-4322



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

党市政策委員長
石山忠義
67-3525

党県政対策委員
上田ゆみ子
68-2106

禁無断転載
複写配布

野中広務さん 「赤旗」に登場

市民から驚きと共感



野中氏はインタビューの冒頭、「50年間の政治生活での宿敵（赤旗）のことは今の日本がおかしくなつたから」と発言。特措法を積み重ねて自衛隊を海外に出かけていけるようにしてしまつたことに不安を述べ、自民党は戦争が好きな政党になつてしまつたと言います。学校教育で明治以降の日本の歴史をしつかりと教えてこなかつたことが田母神・元航空幕僚長のよつな暴言を生んだ、再び過ちを繰り返さないよう歴史から学びをねばならないと語っています。

「この人、テレビで見たことある」「へー、赤旗に載つていたので」
元内閣官房長官の野中広務氏のインタビューが6月20日付「じんぶん赤旗」の一面に掲載されたことに写真く市民の間で驚きの声があがっています。

「この記事を見た市民の声をいくつか拾ってみました。戦争をやつてはダメですよ」「日本はまるでアメリカの属国みた野中さんまで、赤旗」に登場する

解説 大政翼賛会
第二次世界大戦中の1940年10月から1945年6月まで設置された戦争遂行のための国民動員組織「大政翼賛会」とは天皇がおこなう政治「翼賛」は補佐するという意味。当時非合法とされていた日本共産党を除くすべての政党が、みずから党を解散してこの大政翼賛会に合流しました。そのため、当時の帝国議会内には政党が存在しなくなり、政府が思うままの翼賛政治となりました。

願 請

農地法改悪反対」「コメの備蓄を」「最低賃金引き上げを」

6月議会

砂田市議
賛成討論

したが、砂田市議は請願の賛成討論で農地を外国資本や農外大企業への金儲け投機の対象にされると警告しました。

自民党参院議員も
外資参入に懸念表明

「コメの備蓄を」

参院農林水産委員会議事録
(6月9日より)
若水浩美君 (前略)この外資の参入、外資法人あるいはファンド、そつういふことについて、よくやばい議論をして、後に一回そつういふ問題について法律の二つの修正なりいろいろな問題を含めて是非御検討いただくことをお願いをしたいと思ひます。

自民党所属議員らは何一つ反対理由を述べないでこの請願を葬り去りました。

最低賃金引き上げを

自民党の元農林水産副大臣で岩永浩美参院議員も、農林水産委員会外国資本の参入が心配だとして法案の修正を提案したのですが、法案成立を優先させた自民党の方針でこの提案を取り下げてしまつた。しかし、これは日本の農地を外国資本に売り渡す無責任な態度です。

砂田市議は政府が100万トンの「コメ在庫を維持する」といつ自ら決めたルールを守り、20万トン規模の買い入れを、「世界で10億人が飢え、5秒に1人の乳児が死亡しているときに、日本が外国から「コメを買ひあせるのは許せない」「コメの備蓄を増やし、世界の飢餓軽減に貢献を」と呼びかけました。

砂田市議は最低賃金を時給100円に引き上げれば、2兆6445億円の経済波及効果がある、中小企業対策と並行して実施すべき」と主張しました。最低賃金制を創設した1958年の国会で、当時の岸首相も最賃制の施行によって中小零細企業の劣悪な労働条件が改善され、能率もあがり、事業も安定し、過当の競争もなくなる、ということがむしろ中小企業の対策として効果があると述べたことを紹介し、中小企業対策では「大企業による下請け単価たたきの規制こそ重要」と強調しました。

農地法改悪反対「国は川は通り、「コメの備蓄買入れを」「最低賃金引き上げを」と三つの請願が6月議会にかけられ、日本共産党の砂田喜昭市議は賛成討論をしましたが、自民党所属議員らの反対で不採択となりました。

農地法改悪反対

6月議会後、結局、自民公明民主の賛成で改悪農地法が成立しま

